

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスやまと			
○保護者評価実施期間	7年 2月 10日		～	7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	7年 3月 3日		～	7年 3月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 8日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	昼食の提供を行っている。	ご家庭のご協力により、お米1合を持参していただく。 メニューがマンネリ化しないように計画に心がけている。	メニューのアイデアの抽出。 学校給食を参考にする。 飲食店メニューの再現を行う。
2	スタッフのレベルアップ	資格取得の促進 外部研修の参加 内部研修の実施 他事業所見学	県外の福祉研修の参加。 事業所見学
3	SNSへの発信	各クラス別の紹介 長期休暇、祝日活動内容を発信 ストーリーズ、リール動画、投稿を有効活用し内容について使い分けをしている。	インスタグラムの開設

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人事について(スタッフの増員)	サービスの質のさらに向上できる。 スタッフの技量が向上する。 活動範囲の拡張	雇用の促進 スタッフ間の連携の強化をしていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスやまと
------	---------------

公表日 2007年3月11日

利用児童数 13

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11			2	宿題なども出来ている	面談機会の際に、事業所の各空間を見ることができるようになります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1		2	無	スタッフの増員を検討中しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			1	無	構造化についてお子様の動線を考え工夫しているが、外のバリアフリー化は土地の事情により整備できていない箇所がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				無	帰りの送迎後毎回施設内と送迎車の消毒を行い清潔さを大切にしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				無	利用児に関する情報の収集に力を入れています。その他研修への参加をしております。専門的な知識をもって支援を行うようにします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13				無	今後も内容についてアップデートできるようにします。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13				無	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13				無	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13				無	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13				無	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	2	3	無	近隣の公園や公共交通機関を使用することがあり地域との関わりを増やすも児童クラブ児童館との交流は現在行っていません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				無	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				無	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	1	3	他のご家族の方とは1回もお会いしたことはない。	熊本市より研修の案内があった際は保護者へお知らせをお便りにのせて配布を行うように実施します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13				無	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13				無	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				無	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだいへの支援がされていますか。	1	7	1	4	1度も無し	今後開催を検討します。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			1	無	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				無	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13				無	情報の発信を強化します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				無	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1		1	話しを聞いたことも無い 説明を受けたことは無い	案内と共に説明を行っているが、保護者様がさらに分かりやすいように簡素化したお便りを次年度配布と説明をし周知を
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		1	無	毎年訓練を実施しています。 現場スタッフ普通救命資格取得しています。（令和6年度）
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			2	無	保護者への周知を強化します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1	無	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				無	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13				無	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				無	
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇のときなど、食事メニューや活動内容などが工夫されており楽しく利用しています。 ・いつも子供の為にありがとうございます。 								

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス やまと		公表日		7年 3月 11日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用児の障がいレベル別に活動空間をフロア別で実施している。	一軒家での運営のため部屋と空間の広さが限られている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用児の障がいレベル別に活動をフロア別で実施している為、個々の特徴へのサービスが平等にいきわたらせたいのでスタッフ配置には特に相性や知識面で気をつけている。(子供のレベルとスタッフの技能レベルと性格をみて配置)	サービスの質向上のため願わくば、スタッフをあと1人配置したい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子供の動線を予測した構造化に心がけている。(荷物の整理場所、洗面所、余暇や活動空間) 障害区分A1判定のお子様も数名利用の受け入れをしている。利用のお子様分かりやすいようにそれぞれの場所にイラストを貼り付けるなどをして使用する際に見て分かりやすいようにしている。	それぞれの空間の広さに限りがある為、場所によっては混雑してしまうことがある。 成長に応じて、事業所内でもロッカーでも設置箇所を時折変えることで環境の変化に慣れていく練習を加えていくことも大切ではないかと考えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		感染予防に一環で、業務終了後は全フロアの消毒を行い清潔に心掛けている。また居心地が良くなるように購入した備品や子供たちの作品などを展示している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別対応の部屋と1人用の机を複数設置しておりすべての子供が集中して取り組めるようにしている。また屋外でも活動ができるように、事業所横のカーポートをリノベーションしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼と終礼を活用している。また実施する活動内容によっては気軽にどのスタッフにも相談ができるように整備している。業務の効率化ができるようにスタッフの役割分担し見える化している。その他経験年数によって違う役割も経験することで、他のスタッフがやっていたことを理解する。このことにより共通認識が高まるように工夫している。また変更した業務に関しては終礼時の振り返りを加えながら長期的に継続できるようにスタッフと常に送電していることとしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年年度末に保護者には来所していただき面談をする週間を設けている。面談内容については、必ず全スタッフへ周知を行い年間で改善できるように課題の整理を行		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に2回面談をする機会を設けている。	業務時間外でも相談できるようにしていけばスタッフ個人の考え思いを吸いとれるようなと考えられる。これを形にしていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		いずれかは導入を検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部研修を定期的に行っている。屋外研修にも積極的に参加していただき資格の取得できるように手配している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		インターネットで公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		新規利用開始時や毎年アセスメントの見直しと変更保護者からの新たなニーズの吸い上げを年度末の期間を使い支援に必要なヒントを抽出をする。抽出後はスタッフと情報共有を行い、課題の整理を行った後に計画の作成を行い、活動へ反映し、振り返りを繰り返している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		上記と同じ現場スタッフ全体で情報の共有を必ず行っている。これらは、計画作成の他に担当者会議での話し合い後も必ず共有をすることとしている。		

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	作成前には個別支援委員の会議を実施し作成後には、スタッフへ共有しており支援内容の把握を行得るようにしている。個別支援会議以外の内部研修で利用児に関する各ケースについて支援アプローチ内容の検討会を実施している。スタッフからの助言や新たな支援アプローチについても含め支援内容に盛り込んでいる。	現場スタッフの意見が計画にも、反映できるようにしていくこと。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	新年度に向け毎年、保護者に協力をいただきながらアセスメントのアップデートを行う。内容の変更に関してはスタッフと内容の確認と情報の共有をしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	個別支援計画書に提供すべき支援について記入をしている。内容の詳細についてはスタッフに共有と保護者へ説明を行っている。	これからも年々個別支援計画書のアップデートができるようにスタッフの技能向上に向けて準備をしていく。(経験値や資格を使いたくさんの実施したことから、色んな角度で支援のアプローチができるようにしたい)
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	各チームのリーダー中心にチームで作成をしている。内容については他のチームにも共有している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	利用児が事業所の活動内容についてマンネリ化しないように気をつけている。	マンネリ化しないように、状況の把握をしながら新しい物を積極的に取り入れ実施する。実施後振り返りをする。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	お子様の特性や行動、保護者、外部機関からの情報をもとに個別活動、集団活動への計画に反映する。特に利用当日の気持ちのムラにより個別活動が必要となる時がある為この場合は予定していた内容より変更した個別活動をする場合がある。実施の際には送迎時に保護者へ説明を必ず行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝礼時に支援内容の確認と職員の動きを把握できるように全スタッフで共有する。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	当日の業務後の終礼時に振り返りを行っている。改善内容は翌日に実施する。翌日の朝礼時に再度確認を行い確実に実施できるように職員全体で工夫する。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援記録をとっている。追記で詳細な内容の記入したいときは備考欄に追記する。(学校の申し送り内容、服薬の変更など)	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	前期終了後に見直しを必ず行う。利用児の成長により支援内容が最大6か月で達成された時には、後期より新たに追加する。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○	自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供は当事業所において年間の活動内容に盛り込み子供がたくさんのスキルが蓄積できるよう努めている。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	活動において利用児が選択できるような内容を実施している。(集団活動、多数決) その他個別活動時やヒヤリングで利用児が選択が必要な際にはスタッフで補助できる体制を備えている。選択しやすい様に視覚的に取り込めるように配慮する。(イラスト、写真、職員からの補		
関係機関や保護者と	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達管理責任者と担当職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	連携の強化できるようにするため、たくさんの情報が提供できるように日々意識している。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○	学校、保護者の協力のもと実施できている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	就学前会議に参加し、他の機関に協力していただき情報の吸い上げを行う。必要に応じては、後日電話などを活用して追加情報を頂くように積極的に取り組んでいる。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	移行時に必要な会議等があれば参加を必ず行い情報の提供を行う。より多くの情報が提供できるように日頃の活動と接し方、観察において意識的に取り組んでいる。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		

の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		祝日や長期休暇の活動で地域の資源を使用した活動を実施する。地域での生活が向上できるように公園遊びや乗車体験、買い物体験の屋外で触れ合う機会を実施する。		
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○		参加したいのだが、協議会の時間が療育時間と被る為、意思があっても参加できない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。				送迎の時に情報の共有をしている。課題のクリアをしたことまたは新たな課題が出た際には、保護者へ協力をしていただき自宅と学校の情報提供をしていただき支援の参考にしていく。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			次年度より、情報があつた際にはお便りなどと一緒にお知らせをしていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っている。また質問があつた際には管理者より説明を細かく行う。		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成前に年度末に保護者面談をする機会を毎年設けている。この面談での話とニーズ整理票をもとに課題の抽出を行い計画へ反映するようにしている。		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			面談をする機会を設けている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			保護者からの依頼があつた際には、送迎時や電話、事業所での面談を行い課題の整理や助言等を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			感染症対策のため現在交流の機会を設置を今後検討している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			お便りの他に、ホームページとフェイスブックを活用している。次年度インスタグラムも開設予定を検討している。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○					
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			その場のシチュエーション又は子供の精神状態など考慮しに応じて配慮をしている。場合によっては、電話やLINEを活用しており子どもの耳に入れないように配慮するようにしていることもある。		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			今後検討を行う。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			毎年アップデートを行いマニュアルの強化を図りたい。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			毎年訓練を行い職員と連携の課題などを話し合い強化を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			保護者と医療機関と連携し情報の共有をしている。症例によっては職員研修で服薬などの勉強会を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	○			医師の指示書またはアセスメント表に必ず記載していただき職員で共有をしている。これにより調理活動や食事提供の時に配慮している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				晴れの日の訓練を行うことが多いため雨の日の訓練の経験が必要なので実施を検討している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				

ル	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年行っている。またその年度で他県で発生した事例などを使用し理解の促進を図る。虐待防止について理解をしてうえで利用時の直接支援のおける対応についての課題の整理も同時に行っている。	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	○			
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		保護者への説明は契約時に必ず行っている。現在拘束が必要な方がいない為記載はない。	